

誰一人取り残さない

発達障がい児/者を支援する 個別教育支援ICTプラットフォーム「ぴこっと」

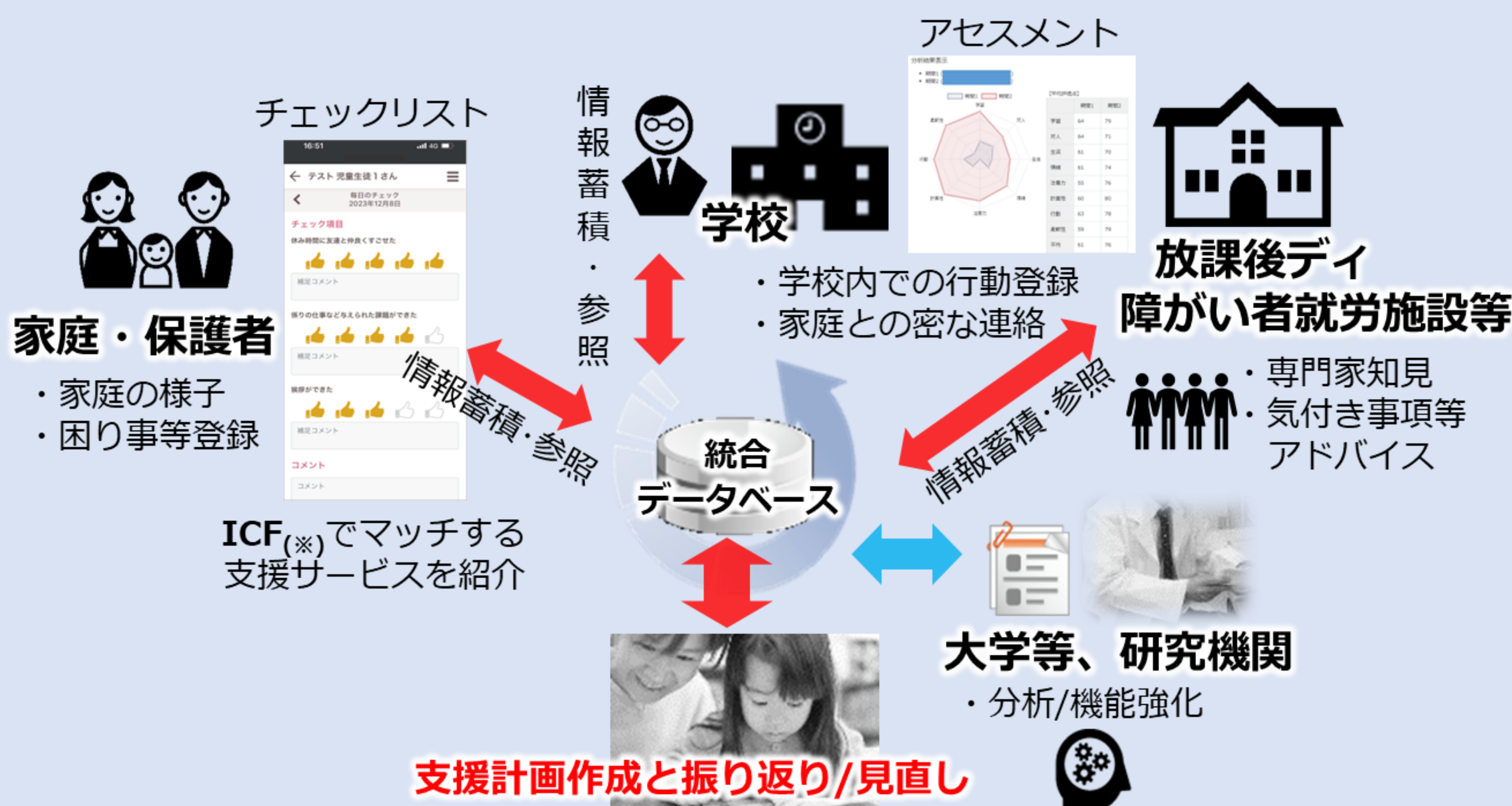
発達障がい等、通常学級内でも特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、全体の8.8%程度在籍するとの報告(※1)もあり、年々増加傾向にあります。その為、個別教育支援計画の作成と定期的振り返りが重要ですが、指導者の多忙さから作業負担の問題で、十分に支援の現場に活かされていない課題があります。

※1 文部科学省 令和4年 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について

MEMO

日々の行動を蓄積し密に情報共有することで、当事者と関係者全員を支援できる、協働型ICT支援システムが有効

個別教育支援ICTプラットフォーム「ぴこっと」



発達障がい等の個人特性に応じた支援を可能とするシステム

- 学校/家庭/支援機関を連携するICTプラットフォーム
- 家庭内や学校等での行動把握の為のデータ収集
- 個人特性に適した個別教育支援計画作成を支援
- 行動データや認知特性に応じた支援教材の導出
- 人間生活や障がい環境を表す国際的なICFコードとシステムの連携

※ICF：WHOが提唱。医療・福祉分野で患者の状態をコード表記するために使われる世界機能モデル

「ぴこっと」の機能概要と特長

- 関係者間の正しい共通理解を促す事ができる
- 保護者と学校及び支援機関との密接な連携が可能
- 本人のライフログを時系列で管理できる
- 卒業や支援機関が変わる際でも、指導者や支援者の交代に際し、共通理解の促進と切れ目ない支援の継続が可能

スマホから簡単に子どもの様子を登録

支援内容等を保護者及び指導者/支援者と簡単に連携できる。



評価分析の時系列変化を、レーダーチャートで分かりやすい形で提示



「ぴこっと」ご利用者の声

先生にいつもそばに居てもらえるようで安心感がある

過去の登録情報が手軽に参照でき、振り返りや支援計画作成がやり易い

褒める内容を多くする等、成長を促すよう利用でき、上手く行くケースが多くなった

インクルーシブな教育システム推進と、その先の就労への継続及び地域社会への定着に向け、一人ひとりに寄添う支援の実現を、個別教育支援システム「ぴこっと」を通じて提供してまいります。